



かしこく・やさしく・たくましく

西中野

平成 28 年度 7 月 (460) 号
平成 28 年 7 月 1 日
中野区立西中野小学校
校長 杉 渕 尚

かかわりを大切に

副校長 富永 暢久



夏休みまで、あと十数日です。暑い日が続くかと思いますが、子どもたちが元気に学校生活を送れるよう、ご家庭でも体調管理にご留意いただければ、と思います。よろしく願いいたします。

さて、先月は、1日(水)～3日(金)に5・6年生の軽井沢移動教室、21日(火)～23日(木)にしらさぎ学級のゆずり原宿泊学習(富士山・相模湖方面)を行いました。

家族と離れて友達と過ごす二泊三日は、子どもたちにとって、とてもよい経験になったと思います。楽しい思い出もたくさんできたことでしょう。しかし、時には自分の思い通りにならず、友達とぶつかった子もいるはずで、家の中では「当たり前」だったことが、集団生活では通用せず、戸惑った子もいるかもしれません。しかし、そういった「人とのかかわり」を通して学ぶことこそ、これから成長していく上で大切なものであることは言うまでもありません。

5・6年生も、しらさぎ学級のみんなも、友達との集団生活を通して一回り成長することができた

3日間だったのではないのでしょうか。

7月9日(土)の学校公開日は、「子ども祭り」です。3年生以上の各クラスとしらさぎ学級の子どもたちが工夫を凝らした「お店(ゲーム的な要素のあるブース)」を運営し、1・2年生と店番以外の児童、参観されている保護者・地域の方が「お客さん」になって各クラスのお店を回ります。

ここでも、異学年児童とのかかわり、児童と保護者とのかかわり、児童と地域の方とのかかわりなど、多くの「かかわり」が生まれます。

日頃よく接している「仲のよい友達」ならば、多少言葉が足りなくても伝えたいことは伝わるでしょう。しかし、日頃あまり接する機会のない上級生や下級生、さらには保護者・地域の方とも「お店」を通して接することになります。子どもたちは、誰もが楽しめるよう「お店」の内容だけでなく「お客さんへの接し方」についても工夫を重ねて当日を迎えることとなりますが、きっとここでも多くのことを学んでくれることと思います。

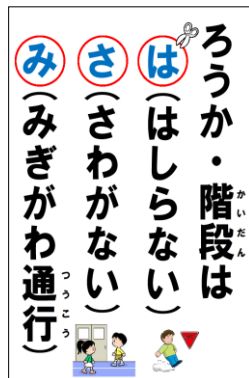
さあ、間もなく夏休みです。いろいろな場所で、いろいろな人との「かかわり」が生まれることでしょう。「人とのかかわり」を通して、多くのことを学ぶ夏休みであってほしいです。

七月の生活目標

「ろうか・階段を静かに歩こう」

生活指導部

西中野小学校には、廊下・階段を安全に歩行するために「は・さ・み」という合言葉があります。



廊下や階段は、安全に歩行しないと、転んだり、人とぶつかったりと大きなけがにつながることもあります。子供たちにとってわかりやすい合言葉をもとに指導することで、廊下や階段は「右側を静かに歩く」ことが定着することをねらっています。

ご家庭でも、廊下や階段だけでなく、道路を歩いたり、自転車で走ったりする時の安全について話題にしていただくと助かります。

保健目標

「夏を健康にすごそう」

給食目標

「夏の食生活と

健康について考えよう」

